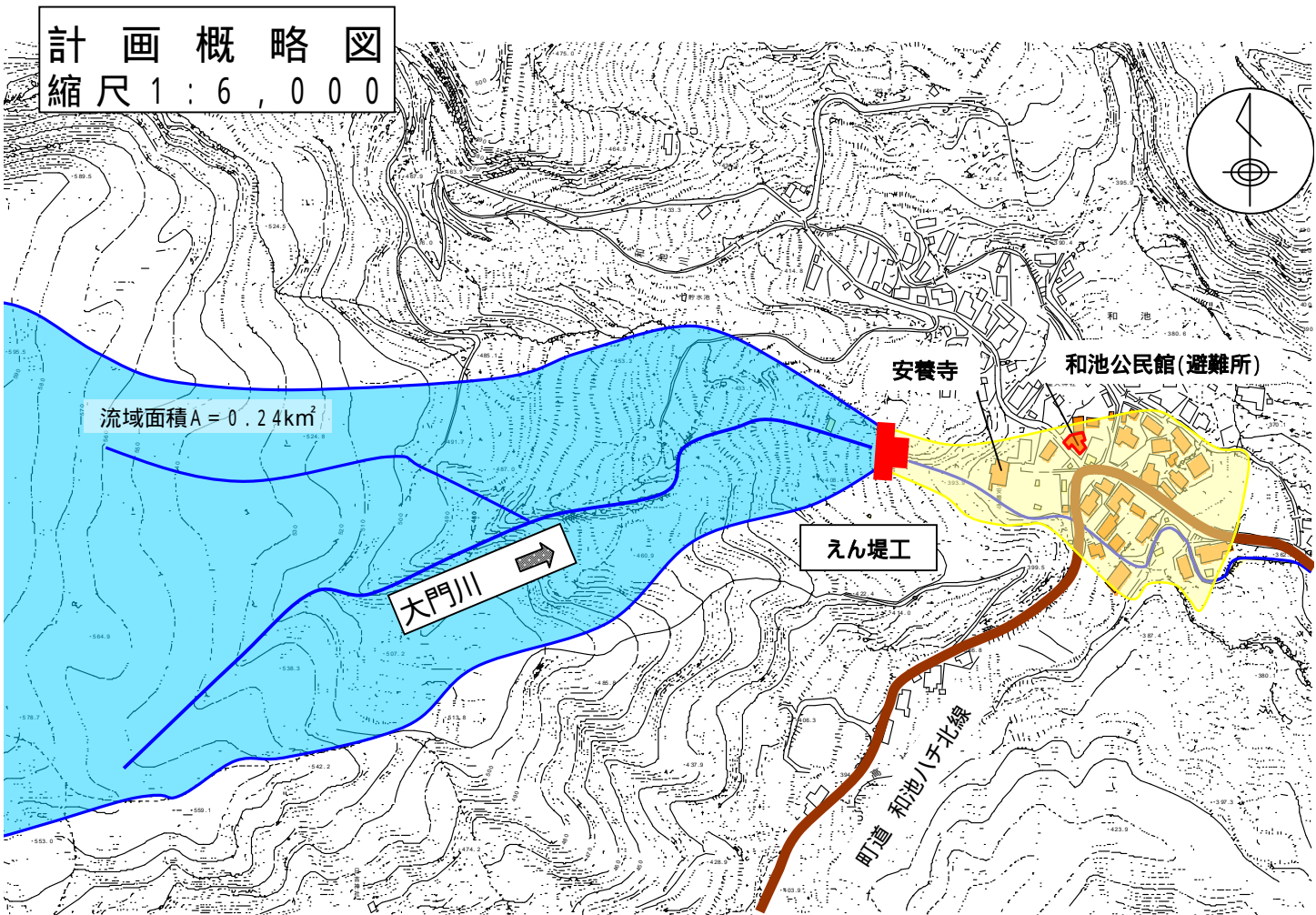
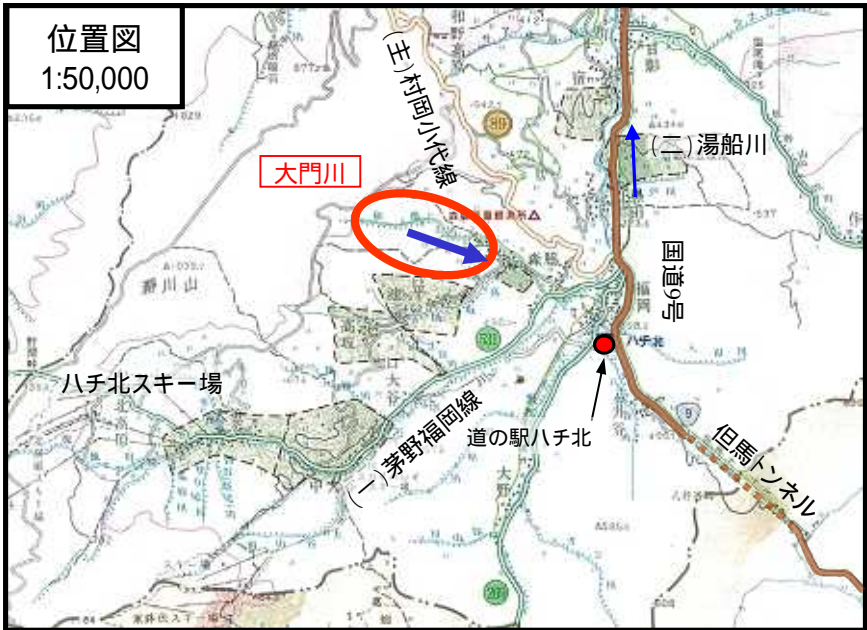
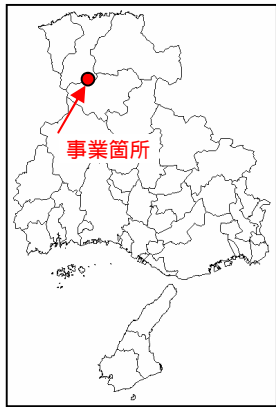


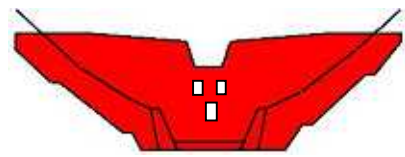
投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 尾崎 幸忠 (木戸 徹)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	1.8 億円
		通常砂防事業 だいちもん 大門川	香美町村岡区 わち 和池	内用地補償費	0.1 億円
所在地				着手予定 年 度	完成予定 年 度
香美町村岡区和池				H 2 2	H 2 4
事業目的			事業内容		
<p>土石流対策</p> <p>当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、家屋、道路等を土砂災害から保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。</p>			<p>・砂防えん堤工 1基 (H = 9.0m, L = 70.0m)</p> <p>[負担割合 国: 1 / 2、県: 1 / 2]</p>		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 (流域の状況)	<ul style="list-style-type: none"> ・(二)矢田川水系湯船川に流入する土石流危険溪流 ・近年の降雨により溪岸の浸食が進み、風倒木も多数発生しているなど、流域の荒廃が進行している。 ・溪床には土砂が厚く堆積しており、土砂災害の危険性が高い。 				
(保全対象等の状況)	<ul style="list-style-type: none"> ・土石流が発生した場合の氾濫面積は約3ha(長さ300m、最大幅150m程度)に及ぶ。 ・町道和池八チ北線は、地区内唯一の生活道であり、町道が被災した場合は和池地区が孤立化するなど土石流が地域に与える影響は大きい。 ・人家19戸、公民館(避難所)、町道(約230m) 				
(2)有効性・効率性 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・上記保全対象を守り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。 ・平成22年度に土砂災害警戒区域を指定する予定であり、警戒避難体制を整備することにより、ハード・ソフト両面からの土砂災害対策の推進が可能。 				
(事業執行環境)	<ul style="list-style-type: none"> ・地元要望も強く、工事用道路の確保が容易であるなど、円滑な事業執行が可能である。 				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・工事による掘削法面等については緑化を図るなど環境保全に努める。 				
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における避難所・避難路の確保が重要であることから、早期着手に対する地元要望が強い。 <p>以上より、H22年度に事業着手し早急な対策が必要である。</p>				

だいもんがわ
大 門 川
[香 美 町]



凡 例	
	事業実施箇所
	土石流氾濫区域
	保全人家等



えん堤工 H=9.0m、L=70.0m